



臨機応変にバグを狙い撃つことで効率的なテストを実現します

概要

従来のソフトウェアテストは闇雲に網羅性を追い求め、信頼性が不明な指標を目的にしがちだったため、余計な手間がかかっていました。本技術は、テスト活動データの記録・分析および、それらに基づいた臨機応変なテスト戦略を実現することで、重要箇所を集中的にテストし、テスト効率を向上させます。

Before: 従来のテスト Conventional Testing

課題 Problem

闇雲に網羅性を追い求め信頼性が不明な指標を目的にしがち
Tend to pursue comprehensiveness and meet unreliable criteria.

品質向上につながらない作業や単純作業に時間が取られている
Spend extra time on boring tasks that do not improve quality.

本当にこのテストは必要？
Is this test really necessary?

品質説明のためにテストの証跡を取るの面倒だなあ.....
It's troublesome to get test evidence to explain the quality.

目標のバグ密度に達していないからもっとテストしなきゃ.....
We haven't reached our target bug density, so we need to do more testing...



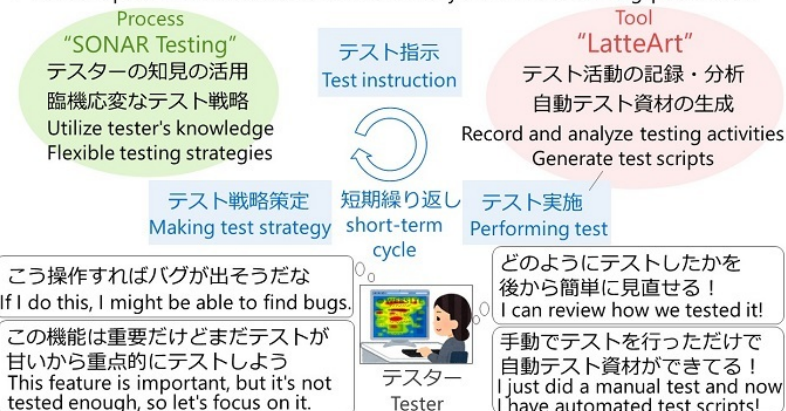
回帰テストに時間がかってなかなかリリースできない.....
It's hard to release it due to long time regression testing...

実際の品質は高いだろうか？
Is the actual quality high?

テスト自動化の資料を準備する時間がない.....
I have no time to implement test scripts for test automation...

After: テスト活動データに基づいた臨機応変な探索的テスト Flexible Exploratory Testing Based on Test Activity Data

- テスターが行った操作を自動的に記録し、さまざまな観点で分析して可視化
- データの分析結果に基づいて逐次判断することで、重要な箇所を集中的にテスト
- Records the operations performed by testers and analyze them in various aspects.
- Make sequential decisions based on these analysis and focus on bug-prone areas.



特徴

- テスト活動データの分析により、バグがありそうな箇所を重点的にテスト
- テスターの操作ログを活用することで、保守性の高い自動テスト資材を自動生成

利用シーン

- Webアプリ開発のテストにおいて、操作・スクリーンショット・バグなどの記録に利用
- 記録したデータを用いたレビューや自動テスト資材生成に活用

今後の展開

- 事業導入して技術の向上を行い、オープン化なども検討し広く技術の普及を行います。将来的にはテスト活動データをさらに活用して機械によるテスト自動化をめざします。

出展社

日本電信電話株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

問い合わせ先：
rdforum-sv-ml@hco.ntt.co.jp